

全国瞬時警報システム（Jアラート）の噴火速報対応と全国一斉情報伝達訓練の実施結果

国民保護室

1 はじめに

全国瞬時警報システム（以下「Jアラート」という。）は、弾道ミサイル情報、津波警報、緊急地震速報など対処に時間的余裕がない事態に関する情報を国から発信し、市町村防災行政無線等を自動起動させて迅速に住民に伝達するシステムです。

このたび、気象庁が発表する「噴火速報」をJアラートを通じて新たに配信することとなりましたので、その概要について紹介します。

あわせて、今年度実施したJアラート全国一斉情報伝達訓練についてお知らせします。

2 噴火速報の概要

平成26年9月に発生した御嶽山の噴火災害を踏まえ、気象庁の火山噴火予知連絡会の「火山情報の提供に関する検討会」において、「噴火が発生した事実を迅速、端的かつ的確に伝え、命を守るための行動を取れるよう情報発信すべき」との提言がなされました。これを受けて気象庁は、火山に登山中の方や火山の周辺住民に火山が噴火したことを端的にいち早く伝えることにより身を守る行動を取っていただくための情報として、「噴火速報」を平成27年8月に発表開始しました。気象庁が常時観測している火山を対象に発表されるもので、「噴火」と「噴火したもよう」の2種類が存在します。

3 Jアラートの対応

Jアラートで配信する情報は、これまでも必要に応じて追加されてきました。噴火速報は迅速に伝達すべき情報であることから、消防庁ではJアラートを用いて噴火速報を配信するための改修や必要な規程改正を行いました。

今回噴火速報が新たに追加されることで、Jアラートで配信される情報は25種類となります。

また、Jアラートで噴火速報が配信された場合、発表対象となる市町村（火山災害警戒地域に指定された市町村）においては、原則として情報伝達手段を自動起動させることとしております。

情報の種別	区分	情報の種別	区分
1 弾道ミサイル情報	◎	14 震度速報	○
2 航空攻撃情報	◎	15 津波注意報	○
3 ゲリラ・特殊部隊攻撃情報	◎	16 噴火警報（火口周辺）	○
4 大規模テロ情報	◎	17 気象等の警報	○
5 その他の国民保護情報	◎	18 土砂災害警戒情報	○
6 緊急地震速報	◎	19 竜巻注意情報	○
7 大津波警報（※）	◎	20 記録的短時間大雨情報	△
8 津波警報	◎	21 指定河川洪水予報	△
9 噴火警報（居住地域）（※）	◎	22 東海地震に関する調査情報	△
10 噴火速報	◎	23 震源・震度に関する情報	△
11 気象等の特別警報（※）	◎	24 噴火予報	△
12 東海地震予知情報	○	25 気象等の注意報	△
13 東海地震注意情報	○		

（※）特別警報

区分の凡例
 ◎：原則、同報無線等を自動起動
 ○：市町村の設定により同報無線等を自動起動
 △：原則、同報無線等を自動起動させないもの

Jアラートで配信される情報一覧

